

福岡女子大学文学部でも、現存の国文、英文を核として、近隣諸語も含む言語能力を錬磨し、国際社会・地域での活躍の基礎を養うような大胆な総合的組織を考えていく緊急の必要があります。教員の結束、知恵によって進めたいと考えます。

4、福岡女子大学を、県立大学として、地域に貢献できる大学にしなければという提案の方向です。社会人の再学習環境を整備する、情報発信を積極的に進めるなど、その他にありますが、その他にどんなことがあるとお考えでしょうか。

「生涯学習研究センター」「産学官地域共同研究推進室」が、学内にあります。これを大きく拡充していかねばなりません。和白近辺のおおさの処理、納豆石鹸の開発など、人間環境学部の研究と行政当局や企業との協力が実を結びはじめました。社会人大学院の開設も地域貢献の一環として考えて行きます。一部夜間開講や集中講義方式の声も聞こえるようになりました。

5、提言案の「行政と協働できる大学」という言い方は、学問や研究の自由、大学の自治という観点からすれば、どのような関わりあいを持つてくるのでしょうか。

大学の内外の風通しをよくする努力をしています。公開講座にもたくさん参加していただきました。法人化に向けての準備のなかで、設置者・地域社会との連携も促進されることでしょう。大学のみで通用する慣行も見直しになるでしょう。もちろん教育・研究に必要なシステムは護らねばなりません。

提言案要旨

県立三大学の独立行政法人化を論議してきた県検討委員会(座長・杉岡洋一前九大学長)は、一月十日「大学」として速やかに法人化するべき」という提言案を麻生知事に渡しました。検討委は昨年七月以来、少なくとも六回の会議を持ち、今後の大学運営について必要なことがらを提起してきました。福岡女子大については「女子大としてあり続けるならば魅力ある大学に変わらなければならない。国際機関で活躍できる人材の育成など、学部学科をふくめ、抜本的な見直しが必要」と言及しています。

納豆石鹸ができるまで
福岡女子大学人間環境学部助教授
白石 淳

今、奇妙な名前石鹸、「納豆石鹸」が売られている。乾燥肌の人に効果があると共に、女性には使用後の化粧のりが良くなると評判である。私は藤井久雄先生の納豆研究を引き継いで、10年前から納豆粘質物のポリ-γ-グルタミン酸(PGA)の大量培養の研究を始めた。この研究を始めた頃から、学生たちは実験が終わった後のフラスコを洗剤で洗っても、洗剤による手の荒れがひどく



ならないことに気付いていたようで、このことが学生の間では先輩から後輩へ言い伝えられていた。PGA大量培養の条件を三角フラスコから300リッターの培養槽へとスケールアップしていく過程において、納豆菌を用いて安定的に大量培養することは

大変に困難であった。この大量培養技術の実用化とPGAの応用開発のために、福岡県の援助で産学官共同研究に取り組んだ。この共同研究を始めた頃、福岡女子大学の秋の公開講座で講演した内容の一部が筑紫海会報に掲載され、その事がきっかけで健康食品販売会社を営んでいる卒業生が訪ねてこられた。その時、以前から頭の中にあつたPGAの保湿作用を利用した洗剤について話した。それから1年半後、共同研究によって納豆菌によるPGAを安定的に大量培養する技術がほぼ完成した頃、出来上がったのが「納豆石鹸」、その名は「筑前博多丹念石鹸・つるるとさらり」である。大量培養技術の確立と、応用開発の成果として納豆石鹸が出来上がったことが重なる、産学官共同研究の成果としてマスコミに取り上げられたのである。



値段は1個(100グラム)2,600円。問い合わせは、オフィスK 092(806)4911

紙上再録
スローライフのすすめ
～ストレス社会を生きるために～
昨秋の公開講座



スロースポーツのすすめ
～のんびりとからだを
うごかすことから～
福岡女子大学文学部講師
松浪 稔

「スポーツ」ときくと、野球やサッカーの試合を思い浮かべる人がほとんどだと思います。このような勝敗や記録を競うスポーツを競技スポーツ(近代スポーツ)といいます。しかし、スポーツの本質は、競争することだけではありません。英語の「sportスポーツ」という言葉の語源はラテン語のデボルターレで、「気晴らしをする、休養する、楽しむ、遊ぶ」などを広く意味しました。つまり、スポーツは最初、気晴らしをする、休養するという意味から、現在使われるような競技やゲーム、運動をさすようになったのです。

スロースポーツという言葉はまだ、耳慣れない言葉だと思えます。スポーツという言葉の意味の原点に立ち返り、気晴らし、休養のためなどに「スロー」をキーワードにおこなうスポーツのことです。ストレス社会といわれる現在、多くの人々がダイエットやストレス解消のためにスポーツで汗をかいているでしょう。その爽快感は格別のもので、とはいえ、生活習慣の変化や加齢とともに、身体能力、体力の衰えを感じる人も多々あります。

私たちのこころから決して別々のものではなく、ひとつずつですから、こころの状態がそのままからだにあらわれます。そのうえで「こころとからだ」がひとつになってゆったりとした状態をさがしましょう。からだを動かす際には、自分のからだに語りかけながら、平均や数値目標に固執したり、頑張りすぎたりするのではなく、自分のからだのどのような動きや姿勢を心地よく感じているのか、こわばっているのか弛緩しているのか、疲れているのか元気なのかというような、自分のからだのこころの状態に気づいていくこと。これがスロースポーツを実践するうえで大切なことです。

スロースポーツのキーワードはゆっくりおこなうこと、やりすぎないことです。できることをからだに相談しながら、からだを感じながら、ゆっくりとスポーツをはじめてみてください。

ストレスをやわらげる
食生活



～病院栄養士の経験から～
福岡女子大学人間環境学部助教授
宗像 寿子

私たちは家庭で、職場で、学校で、ストレスの多い日常を生きています。さまざまなストレスに直面すると心と体の変化があり社会生活にも影響し、早急な改善策が必要になります。精神面では気分が落ち込んだり、身体面では自律神経系、内分泌系、免疫系が一緒になって反応し、さまざまな疾患の原因となる事や回復力の低下が問題になっています。

ストレスが加わると体に必要な栄養素であるたんぱく質、ビタミンC・B群、カルシウム、マグネシウムなどが消費するのでこれらの栄養素を含む食物を組み合わせて、普段以上に栄養のバランスに気をくばり、食事を美味しく楽しむ工夫が基本になります。時には家族や仲間との会食、食器を変える、食材を見直すなどの行為で心が癒されます。

生活習慣病の発症と進展は種々のストレス刺激による生体反応が大きく関与しています。その予防には食生活の役割が重要です。病院等での加療が必要になった場合も薬物・運動療法とともに食事療法も必要になってきます。ところが病院に入院して食習慣に合わない嗜好、食事時間、食空間等でストレスを招き食事療法が困難になることもあります。これまで病院食は「まずい、早い、冷たい」と不評を買ってきました。現在は病院食もサービス部門としてとらえる事、各人に対して適切な栄養管理ができていく事が求められています。ストレス緩和もできる総合マネジメント力のある管理栄養士に期待がかけられています。

アオサプロジェクト研究
福岡女子大学人間環境学部教授
若松 國光

博多湾にはおよそ230万の人々が使った生活廃水や下水処理水が流れ込むことから富栄養化し、そのために、アオサが大繁殖するようになりました。夏季には潮に流され干潟に蓄積したアオサが腐敗して、地域住民が悪臭で悩まされ、また酸素欠乏により干潟の生物が大きな影響を受けています。福岡市は毎年、アオサ回収船やブルドーザーで約1,800トンのアオサを回収して人工島へ埋め立てたり、焼却処分を行っていますが、埋め立て作業はあと2年余で終了しますし、焼却は炉を傷めることから、従来とは全く異なる処理方法の研究・開発が必要となりました。

昨年度、NEDO(産業技術総合開発機構)の支援を得た「アオサを原料としたメタン発酵等生物化学的変換技術による燃料化システム実証試験事業調査」事業における検討会(本学、九州産業大学、産総研九州センター、福岡市、九州経済産業局との共同調査・研究)の委員長として、アオサの有効利用の研究・開発を池田助教授・院生・学生と一緒に進めて参りました。その結果、アオサを未処理のまま塩分存在下でメタン発酵させる反応システムと加圧熱水処理後メタン発酵させる反応システムを研究室レベルで確立することができました。今後、もっと効率の良い大型の反応システムの研究・開発およびアオサから付加価値の高い機能性成分の分離とその有効利用の研究・開発を進め、それぞれの実用化を目指しています。



干潟の保全活動(福岡市の環境関係職員と若松、尾池(女子大4年生))



香椎幼稚園

50年目を 113名でスタート

園長 江頭 勝子
(大17園)

去る4月12日記念すべき第50回入園式が行なわれました。

積野野コト(専1文)、副園長・猪野ます栄(専13家)、保育担当・目加田さくを(専11文)、他のメンバーも全員卒業生

幼稚園建設のための募金活動が始まり、昭和30年同窓会立香椎幼稚園が開園しました。園長・



からなるものでした。最初の園舎は、大学がまだ古い校舎のところで、大学の正門を入ってすぐ右、今の守衛室付近に建設されました。赤い屋根、うすいグリーン建物だったそうです。ところが、大学が現校舎に建て変わるに当たって、メインの場所になり過ぎるため、また、戦後のベビーブーム世代の二世たちが幼稚園の年齢に達し、園児増に対応できなくなったこともあり、昭和50年、現在地の大学グラウンド東側に、鉄筋二階建ての園舎を建て移転しました。旧園舎で20年、現園舎で30年、香椎幼稚園は子ども達と共に歩み、歴史を作ってきました。最初は一年保育で始まり、給食と預かり保育は行な

が、二年保育が中心になり、昭和56年には三年保育も開始、卒園生も400人を越えました。少子化の影響などで園児数が徐々に減り、今年度は年少組18人、年中組43人、年長組52人、合計113人でのスタートです。子ども数の減少で、少しでも多くの園児を獲得したい幼稚園。さらに働く母親が多くなったことや、子育て期間中も自分の時間を多く持ちたいという母親のライフスタイルの変化などで、幼稚園は年々保育園化しています。現代の幼稚園の「三種の神器」と言われているのが、給食・預かり保育・通園バスです。香椎幼稚園でも親のニーズにより、給食と預かり保育は行な



ています。でも、通園バスはあえて入れていません。朝は親子で登園、帰りは地区毎の集団降園の形をとっています。幼稚園の説明会に来られるお母さん、入園式の保護者

学校法人 筑紫海学園 だより

祝ご退職

安達 二三夫 様
ナツエ 様

ありがとうございました

しかし、十分なやる気と持ち前の手先の器用さ、そしてナツエさんの明るさを存分に活かして、山荘の管理運営に取り組んでくださいました。

着任当時小

つくしみ山荘開館四年目の昭和五十五年から管理人として二十三年と六ヶ月勤務された安達さんが、このたびめでたく定年退職を迎えられました。安達さんは、山荘の運営もまた駆け出しの頃に、前管理人の急死に伴い引継ぎも何もない状態で急きよ採用され、ご苦労も大変多かったと思います。

学生だった二人のお子さんも立派に成人され、安達ご夫妻は三人のお孫さんのおいちゃんおばあちゃんでもあります。山荘近くにこれからの生活の基盤となるお家も建てられ、退職後の準備も整いました。長い間、本当にお疲れ様、そしてありがとうございました。

山荘で過ごした日々

一生懸命に勤めているうちに二十四年が経ちました。本場の経営者のつもりで取り組んできて、とても楽しかったです。多くのお客様が来て下さり、故郷に帰ったみたいだと言われることが励みになりました。

慣れない頃、富安元会長の「おじちゃん、おばちゃん、また来たよ。懐かしいなあ。」と来てくれることが一番嬉しかったです。

一番の苦労は、今も昔も料理です。最初は慣れなくて、またいつも季節のことなどを考えながら、工夫を続けてきました。最も大変な思いをした



一緒につくしみ山荘に行きましょう

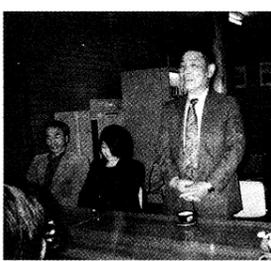
第15回 同窓生バスツアー
お1人から申し込みます。クラス会も歓迎。
日 時：平成16年10月1日(金)～2日(土)
13時30分 福岡天神出発
コース：天神-甘木-つくしみ山荘泊-湯布院-天神
参加費用：10,000円(1泊2食、バス代)
申し込み：同窓会事務局 TEL/FAX 092-671-6360
締 切 り：8月31日(最少催行人数25名)

☆詳細は申し込まれた方にハガキでご連絡いたします。

なごやかに「歓送迎会」

3月22日、安達ご夫妻の長年のご苦労に感謝して、また今後の健康で平穏な日々を祈念して、さらに新任の早川管理人のご紹介を兼ねて、つくしみ山荘で「歓送迎会」を開催いたしました。山荘開設当初以来の同窓会・筑紫海学園の理事監事など関係者を中心に21名の参加で、にぎやかに和やかに行なわれました。

11月21日、創立50年の記念行事を持つ予定です。記念行事に関しては、次号でお知らせしたいと思います。



その後みんなで片付けをして、早川新管理人を囲んでの歓送迎茶話会を実施。お客様数が非常に落ち込んでいた中、大変だと思いがちでしたが、いという激励の声に早川さんも改めて身の引き締まる思いだったようです。

初めに森永会長からのご挨拶、次に筒井法人監事・中條元山荘担当理事から思い出のエピソード披露、そして安達ご夫妻からの挨拶があり、その後福永副会長から花束、光石副会長から記念品の贈呈がありました。

会食に移り、まずビールで乾杯、早川新管理人あつという間に時間が過ぎ

戸田 裕子(大17園)

新管理人に 早川信美さん

つくしみ会会報に平成14年春号から三回、管理人募集の広告を載せ、数人の応募者の中から早川信美さんをお願いするこ

の娘さんで、料理や手芸が好きで明るい方です。しかしながらまったくの素人なので、「迷惑をおかけすることもあるかも知れませんが、精一杯がんばりますのでよろしくお願いします」とのことです。皆様どうぞご理解ご協力をよろしく

つくしみ山荘 ご利用ください

ご宿泊
大人一般 6,800円 (税込7,140円)
同窓会員 5,800円 (税込6,090円)
子供 4,500円 (税込4,725円)
福女大生 4,000円 (税込4,200円)

ご予約は TEL・FAX 0973-79-3408